

# はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL924-2194 FAX924-2195

## 初夏の花が咲き始めましたよ

(麓山荘)新緑に咲く「ムラサキツユクサ」



### 平成24年度「みどり講習会」

次回 9月 9日(日)午前・午後開催  
場所 麓山の杜『杜のエントランス』

テーマ「記念樹の育て方初歩講座」  
時間 午前 10:30 午後 13:00

※ワンポイント 秋咲きの(モクセイ&サザンカ)  
植え付けや管理について

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

### ガーデニング ワンポイント

## 緑が一段と色濃くなりました

水田の早苗の上を吹く風に爽やかさを感じる季節となりました。陽射しが強く気温も上がり木々の緑も色をまし茂らせてきています。その強い陽射しをさえぎる木陰が当分の間、私達を癒してくれる空間になります。季節の変わり目となり初夏を彩る花が咲き始めました。ヤマボウシやナツツバキなどの雑木や鮮やかなバラの花が目を引きまします。

【水やり】 今年はまだ定期的な降雨があり水やりは意外と楽に済みました。ただ今年植えた樹木などはまだ根の張りも少ないので水の管理は必要です。毎日少しずつあげるのではなく、乾いたらたっぷりあげるのがコツですよ。腐葉土を表面に敷いて乾燥を防ぐのも一つの方法です。水やりは意外と難しい作業です。

【肥料】 多くの樹種はこの時期にはあげません。軟弱に育ちやすく病虫害の被害を受けやすくなります。ツツジなどは開花後にお礼肥をあげます。

【病害虫防除】 カエデ類をはじめとしてアブラムシが春から続き新梢に発生します。発生すると排泄物で樹の下が濡れたような状態になります。ボックスウッドなどはエダシヤクの食害跡がみられます。カイガラムシは幼虫のこの時期が防除しやすいです。アブラムシには予防の意味合いでアセフェート粒剤の定期的な散布が効果的です。また大事な松を守るのには枯れの原因となるマツノマダラカミキリを防除する薬剤散布が必要になります。

【剪定】 針葉樹の刈込剪定は早めに行います。ツツジ類は花後に剪定をします。樹勢を弱めないためにシヤクナゲなどは花柄を摘み結実を防ぎます。マツのみどり摘みは早めに行います。形を整えるには大事な作業です。総ての樹木に言えますがこれからの時期は剪定をやり過ぎないようにします。葉の量が少ないと光合成が少なく丈夫に育つことができなくなります。

【植え替え】 落葉樹や針葉樹はこの時期はむきません。常緑樹は新梢が固まる梅雨の頃は可能です。ただし鉢植えの場合は大丈夫です。

## 記念樹交付日イベント・緑化相談等予定表

次回交付日	みどり講習会	季節のワンポイント
9月9日	記念樹の育て方初歩講座	秋咲きの（モクセイ&サザンカ） 植え付けや管理について

## 意外と知らない植物の世界

植物は草本と木本に大きく分類されます。字の如く草本はベゴニアやヒマワリなどの植物です。一方の木本はマツやモミジなどの植物です。ではその違いは何でしょうか？

分類は簡単なようですが、草と木のその違いを端的に答えることは意外と難しいことです。

一般には地上部が枯れずに長年生き続け、形成層の働きにより二次肥大成長して茎などが木化していくのが木本植物です。草本は一次成長で終わってしまうものがほとんどです。二次肥大成長と木化の二点を持つものが木本植物となります。木本植物を樹木と呼んでいます。

では皆さんに質問です。春先から店頭に並ぶタケノコ、色々な料理で利用され美味しいですね。そのタケは木本それとも草本植物でしょうか？被子植物の単子葉類に分類されるタケはイネ科の植物です。単子葉類はほとんどが草本です。でもモウソウチクなどはかなり大きくなり固い幹（筍）になります。ただしタケは二次肥大成長をして毎年大きく育っていきますか？なりませんよね。私達が食するタケノコはそのタケの全体が圧縮された形での状態です。皆さんのご意見を待っています。

それにもうひとつ考えてください。なぜイチョウが針葉樹の仲間に入るのかです。裸子植物だからでしょうか？

不思議な事はいっぱいありますね。皆さんも不思議に思ったことを（注、植物やガーデニングの件）当ホームページなどで問い合わせしてみてください。極力、参考になる答えを引き出したいと思います。

### 街で見かけた植物

#### ヒトツバタゴ（一つ葉田子）

別名がナンジャモンジャノキを知っていますか？別名を聞いて笑ってしまったり、本当なのと疑ったりしてしまう名前ですね。国内自生地は一部に隔離分布している貴重な樹種です。その為に環境省のレッドリストに指定されています。5月末頃にトネリコと同じような白い花をつけます。アメリカヒトツバタゴという外来種は小さくても咲きますので個人庭園にむきます。

